



まちとむらをつなぐ

ぷらっとほーむ

5号



新年あけましておめでとうございます。

昨年8月のセンター開所以来、多くの方に御支援たまわり、誠にありがとうございました。本年も「暮らし満足都市」豊田市の実現に向け、より多くの交流支援をしていく所

存です。どうぞよろしくお願いいたします。

おいでん・さんそんセンター スタッフ一同

★トップニュース★

集落活動応援隊（日下部町）

★12月14日 日下部町(旭地区) 応援隊派遣9名



最光院梅園の梅の木の剪定と周辺の下草刈りのお手伝いをしました。

毎年地元の方々が手入れをしていますが、過疎・高齢化のため応援隊を派遣しました。今回は初めての試みとして、地域の方が招いた造園家の伊藤先生から剪定の仕方や安全対策の指導を受けました。徒長枝の剪定を行い、後半は樹高が高く育ち過ぎた木の切り戻しを行いました。集落の方々と一緒に作業をしながら、剪定の仕方や道具の話など学ぶ事の多い体験が出来ました。

梅園には約300本の紅白の梅があり、今回は剪定が必要な一部分でしたが、鈴木康爾区長から「応援隊に手伝って頂き、思い切った手入れが出来た。」との言葉を頂きました。終盤には雪がチラホラと舞う寒い日でしたが、作業終了後に地域の皆さんが豚汁とお漬け物を振る舞って下さり、皆で「花が咲く頃に自分たちが剪定した梅の木を見に来ないといけない」と、談笑しながらご馳走になり、お腹も心も暖まりました。

3月22・23日にはこの場所で「つくばの里梅まつり」が開催されます。皆さま、是非お越しください。



★ 活動報告★

モクモク手づくりファーム・木村修氏講演会

12月3日（火）

「農村産業 農業とその販売の新しいスタイル『人で商品の魅力を何倍にも引き出す方法』と題して、いなぶ・アグリルネッサンス主催により開催された（株）伊賀の里モクモク手づくりファーム・木村修氏の講演を聴講しました。「る・る・ぶ」という言葉は「観る・食べる・遊ぶ」から、「買物する・食べる・学ぶ」に変わっているというお話など、食育の重要性を見出した木村氏が現場で実践されて来た取組は、大変参考になりました。



Toyota Bamboo Project

12月12日（木）

過疎・高齢化の進む地域では、竹の伐採や運搬は難しく、竹林は荒れ広がっています。根の浅い竹は、豪雨や地震による地すべりなどの要因にもなるため、いかに竹林を整備するかは、竹が自生する地域の深刻な問題のひとつになっています。世界的に有名な自動車のまち「豊田市」ですが、面積の大部分が農山村部です。この日は市内各地の竹林でフィールド調査をしましたが、整備作業前と後の景観の違いは歴然です。豊田市の農山村にある竹林の保全を目的とし、その課題解決のため、竹を有効利用することを考えている Toyota Bamboo Project のメンバーと共に、センターも豊田市の竹林の保全と竹の有効利用による取組みの支援をしていきます。

※写真左上は孟宗竹。右上・左下は真竹と淡竹の混生。右下は整備した淡竹の竹林。



豊森なりわい塾 第7回講座 『エネルギーと森づくり』

12月14日（土）15日（日）

豊森なりわい塾の第7回講座が開催されました。

14日は、受講生による講義。まずはSさんによる地球温暖化についての講義。『環境問題は生き方の問題である』という言葉が印象的でした。続いて、ライフサイクルアセスメントについてKさんから『ハイブリッド車は本当に環境にいいのか』という観点で某自動車メーカーの環境に対する取組をご講義いただきました。最後に、NPO 法人地域再生機構 森大顕氏をお迎えし、薪活用の先進地であるドイツ視察の成果として木質バイオマスの活用や薪の地域活用などについての報告を伺いました。

15日は、旭の安藤久氏さんとともに、矢作ダムや旭高原、あさひ製材など旭地区の森林のフィールドワークを行い、豊田市経営戦略室原田裕保政策監に豊田市の森づくりについてお話を伺いました。

豊田市は約70%が森林で、うち5割が人工林であるスギ・ヒノキ。山から川へ、川からまちへ、山を間伐しきれいな森林を取り戻すことが、まちに暮らす私たちの生活にも繋がってくる。薪ストーブなどを生活に取り込む人が増えると、間伐材の消費も上がって切り捨て間伐も少なくなる。水を飲むときに思いを源に馳せる『飲水思源』の心を大切にするなど、豊田市に住んでいるみんなが力を合わせれば、市の目標「20年間で過密人工林一掃」も夢じゃないのではないでしょうか。

前出の森氏の視察先であった、ドイツ・レッテンバッハ村長の講演会がありますので、是非ご参加下さい。（P3.参加者募集ページ参照）



参加者募集

いなかとまちのくるま座ミーティング

- 日時：2月7日（金） 14：00～17：00
- 場所：香嵐溪一の谷（豊田市足助町一ノ谷 22）
※アクセス：おいでんバス・名鉄バス「香嵐溪一の谷口」バス停より徒歩7分
- 対象：都市と農山村の交流に関心のある企業・地域・団体関係者、商工会、6次産業化に取り組む事業者、学識経験者等
※興味のある方なら、どなたでも参加していただけます。
※参加無料
- 【スケジュール】
14：00 私の好きなむら～1枚の写真で語る農山村の魅力～
14：30～17：00 くるま座ミーティング（分科会）
17：30 懇親会（別途 5,000円必要）
- 【分科会①】『地域の資源を見直そう！～農山村の資源を活用したビジネスモデル～』
話題提供者：トム・ヴィンセント氏（株式会社トノループネットワークス 代表取締役）・川村 のり子氏（株式会社喜乃紀 代表取締役）※コーディネーター：加藤 栄司氏（愛知県交流居住センター事務局長）
- 【分科会②】『地域を変えるのは女子力だ！～女性のチカラでまちおこし～』
話題提供者：後藤 妙子氏（道の駅おばあちゃん市・山岡 駅長）※コーディネーター：西上 ありさ氏（studio-L IGA 代表）
- 【分科会③】『まちとむらが力を合わせて幸せづくり！～都市部の企業や地域の力と農山村の地域のお互いの問題を解決～』
話題提供者：倉島 貞夫氏（住友ゴム工業株式会社 名古屋工場 総務担当課長）・近藤 正臣氏（前・敷島自治区長）※コーディネーター：澁澤寿一氏（豊森なりわい塾 実行委員長）
- 申込み：おいでん・さんそんセンターまたは市 HP に掲載の申込票にご記入の上、①メール送信、②FAX、③コピーを郵送のいずれかの方法で1月31日（金）までに下記へお申し込み下さい。
豊田市役所 企画政策部企画課（担当：志村・丹羽・杉浦）
①kikaku@city.toyota.aichi.jp
②0565-34-2192
③〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
- その他：お近くの宿泊先のご案内
百年草（Tel：0565-62-0100、住所：豊田市足助町東貝戸10）
※宿泊をご希望の方は直接お申し込み下さい。
※会場までの移動は、送迎バスのご利用も可能です。（13：20百年草出発）
- 問い合わせ：豊田市企画政策部企画課 Tel：0565-34-6602

「産土 UBUSUNA」上映会 トム・ヴィンセントトークショー

- 日時：1月25日（土）14：00～16：30（開場 13：00）
- 場所：豊田市美術館 講堂
- 内容：「産土」…或る土地のことであり、またその土地の守り神。人が生まれる前から死んだ後まで、その人のことを守り続けると信じられている。長岡参監督作品「産土」には、自然とともに生きてきたかつての日本人の暮らしとそこに息づく知恵や文化、また同時にそれらが失われつつあるという現実が、美しい映像によって表現されています。上映会と編集・監修者のトム・ヴィンセント氏のトークショーを開催し、「アートと社会を結ぶ」ことの意義や効果について意見交換を行います。
- 入場料：500円（美術館常設特別展観覧料【1月7日～】を含む）
※中学生以下無料
※市内高校生、障がい者、市内75歳以上無料（要証明）
- 定員：150名
- 問い合わせ・予約受付：①とよたデカス・プロジェクト事務局窓口（9：00～17：00、土日祝除く）②T-FACE B館2階 インフォメーション（営業時間内）③メールまたはFAX（代表者名、連絡先、チケット枚数、無料整理券枚数明記）
- メール：info@decasu.jp
- FAX：0565-34-6766
- ※無料対象者は整理券をお申し込みください。
- 主催：豊田市 豊田市教育委員会 豊田市美術館

こどもの遊びとこどもの居場所

- 日程：2月1日（土）
- 場所：とよた視聴覚ライブラリー
- 《1部》「子どもにとって遊びってナニ？～すべての子どもたちに～」10：00～12：00 場所：3階集会室
- 《2部》「子どもの居場所ってどんなトコロ？～思春期からおとなへ～」～だごっこパーク・おもしろ荘での日々を通して～
13：30～15：30 場所：2階第1会議室
- 講師：渡辺達也さん
- 内容：「子どもたちに必要なのは日常のなにげない時間」。あらゆる子どもたちの「居場所」…。「居場所」ってなんだろうね？「何気ない時間」ってなんだろうね？ たっちゃんの話聞きながら、一緒に考えていきませんか？
- 参加費：各回500円（資料代）
- 申し込み・お問い合わせ Tel：090-1109-0038
Email：m-toki.0728@ezweb.ne.jp（近藤）
- 主催：とよたプレーパークの会 【ブログ】 tppk.exblog.jp/

★センター及び関係団体のイベントスケジュール★

● あすけ聞き書きフェスタ

日時：2月9日(日) 13:30~/場所：足助病院(豊田市岩神町仲田20)

● ジビエ・グルメ・スタンプラリー「ゴールイベント」

日時：2月9日(日) 時間未定/場所：足助交流館(豊田市足助町蔵ノ前16)

● つくばの里梅まつり

日時：3月22日(土)~23日(日) 時間未定/場所：最光院(豊田市日下部町柿ノ入33)

● ほんわか里山交流まつり~里山をフィールドに活躍する団体と市民の手づくり交流まつり~

日時：3月23日(日) 10:00~14:30/場所：笹戸温泉(豊田市笹戸町)

『green maman 朝市』が1月より、毎月第2

木曜(タキノウ家具本店)にて開催されます!

☆オープニングイベント☆

とき：1月9日(木)10時~12時過ぎ

ところ：タキノウ家具本店(豊田市下林町26-5)

出店者：いのはな農園(野菜・保存食)、徳八農園(野菜・ジャム、お漬物)、とうふ屋しろ(国産大豆豆腐)、anam(フェアトレード商品)、CAMPECINO(甘酒ドリンク、米こうじ・塩こうじ)、kobalele coffee(コーヒー・珈琲)、きみ

おやつ(スイーツ)、三州足助屋敷みつのも屋

Work：にわとこ(台湾式足つぼ)、ヒーリングカ

ウンセララー・光(エンジェルカードリーディング・手相)

Work：にわとこ(台湾式足つぼ)、ヒーリングカ

ウンセララー・光(エンジェルカードリーディング・手相)

Work：にわとこ(台湾式足つぼ)、ヒーリングカ

ウンセララー・光(エンジェルカードリーディング・手相)

★ スタッフ ★

センター長 鈴木辰吉

コーディネートスタッフ 安藤里恵

西田又紀二(ゆきじ)

おいでん・さんそんセンター

〒444-2424

豊田市足助町宮ノ後26-2

(足助支所内2階)

TEL 0565-62-0610(直通)

FAX 0565-62-0614

mail sanson-center@city.toyota.aichi.jp

<http://www.oiden-sanson.com>

おいでん・さんそんセンターを支える仲間たち No.4

千年持続学校

最近、田舎へ移住したい人が増えています。それでも、実際に移住を実現できるのは、限られた人だけです。そこには、①住むところがない、②生業がない、③医療機関がない、④高校・大学などの高等教育機関がない、という、4つの壁があると考えています。これらの壁を乗り越え、若い人の移住を応援しようと生まれたのが千年持続学校です。

- ① 「住むところがないなら作ってしまおう」というのが、2011年9年に開講した「住まいづくり講座」です。受講料5万円×30名=150万円を建築資金(現代版の「講」とし、受講生は自然エネルギーや大工技術を学びながら力を出し合い、家を作っています(現代版の「結」)。
- ② ③ 「生業がないならちいさな稼ぎをたくさん作ろう」、「医療機関がないならできるだけ自然療法で」という思いから、自然療法を取り入れた「心と体作り講座」を2012年9月より4回行っています。他にも、間伐材を使用した小屋作りキットによる「建前ごっこ」ワークショップを開催し、キットの販売も予定しています。
- ④ 家から通える高校・大学が少ないため、進学にあたり下宿し、地元を出て行く子が多いという現状があります。そこで「田舎の高等教育機関を作ろう」ということを最終目標としています。さまざまな人が千年持続学校という場に集まり学び合うことで、田舎の人・その子ども・I/UTターン者・都市の人が、それぞれの学びたいことや生活に密着した衣・食・住に関わることを専門的に学べる場となっていくことを目指しています。

校長 高野雅夫(名古屋大学大学院環境学研究科准教授)

問い合わせ先：事務局 下野智子

e-mail：noitomo@gmail.com

おいでん・さんそんセンターは、都市と農山村の交流をコーディネートする豊田市の取組です。